



横芝町長 實川堅司郎

年頭のごあいさつ

新しいまちの  
土台づくり

明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えることとお慶び申し上げます。

さて、新しい世紀の扉が開かれて2年目、誰もが希望に満ちて待ち望んだ21世紀。それを象徴するかのようには、国を挙げて慶びにわいた新宮様のご誕生。そして今年には、世界中の人々が熱狂する「サッカー・ワールドカップ」の日韓共同開催。日本チームの活躍にのみならずと期待も高まってまいります。しかし、一方では世界を震撼させた「ニューヨーク同時多発テロ」、これに端を発した対テロ戦争。また、国内においても狂牛病や長引く景気の低迷など、暗く出口の見えないものも多く、21世紀はまさに混乱の中でのスタートといえます。

こうした中、町をとりまく状況も一段と厳しさを増し、さらには少子高齢化社会の到来、高度情報化の進展、市町村合併、地方分権の推進等、社会システムの改革に伴う新たな課題も生じています。特に、地方分権が実行段階となった今、これからは各地方自治体が自らの判断で政策決定をし、効率的な行財政運営のもと、個性豊かな魅力あるまちづくりを推進していくことが求められています。

町では、このような情勢を踏まえ「交流と連携、人と自然の共生」を基本理念に「健康と快適な暮らしの公園交流のまち・横芝」を将来像として策定した「横芝町新総合計画」による、新たなまちづくりを進めてまいります。